

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2014.06.No202

6月号

目次

地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業	1
「建築士の日」支部事業	2
青年・女性の窓	4
[No.66 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
道士会の動き	6
支部だより	7
[北広島・中標津・苫小牧]	
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業

女性委員長 本間 恵美 (小樽支部)

(公社)建築士会連合会の高齢者タスクフォースが中心となり、昨年春より進めて来た「地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業」が平成26年2月より始動しました。この事業には、全国より4士会「(一社)神奈川県建築士会」「(公社)愛知建築士会」「(公社)徳島県建築士会」そして「(一社)北海道建築士会」が参加しています。国土交通省の「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業<先導的事業>」からの補助事業です。

タイトルを見ると、とても難しいことのようにですが、わかりやすく言うと、現在、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジャーが中心となって進められている要支援や要介護の認定を受けた高齢者もしくはその予備の高齢者の住宅改修工事に建築士(この事業ではアセッサーと呼ぶ)がかかわることにより、ケアマネジャーの住環境整備の負担を軽減でき、より質の高い提案ができるのではないかと実践して検証しよう、という内容です。

介護保険を利用した住宅改修では、ADL(日常生活動作)やIADL(手段的日常生活動作)といった日常生活を営む上で必要な行為(前者は食事や排泄等、後者は洗濯や掃除等)を改善するために行われる改修工事が主となっていますが、アセッサーがかかわって専門的な助言が行われることにより、住宅改修が、より相談者の自立に向けた手段となり、QOL(生活の質)の向上にまでつながることが期待されています。

この事業では、相談者から依頼を受けると、ケアマネジャーとアセッサーが相談者宅を訪れ、情報収集しアセスメント(評価)を行います。その情報を元に、住み替えもしくは住宅改修をして住み続けるかの提案をします。住み替えとなった場合には、それぞれの条件に即した住まいを紹介します(北海道

では、住み替え相談を行っているNPO法人を紹介する予定)。住み続けとなった場合は、どのような住宅改善が必要であるかを提案します。

当初、26年度のみでの事業として進めて来ましたが、申請に時間を要したため、26年度、27年度の2カ年の事業に変更となりました。他県は、住宅改修工事の補助(工事費の1/3自己負担)も行いますが、北海道では改修工事は行わずアセスメントと簡易な改修の提案のみを行います。モデル対象地域は札幌市内です。25年度は2件、26年度は8件の合計10件を予定していましたが、25年度は事業終了までに約1ヶ月と期間が短く、1件のアセスメントを実施するのみとなりました。

本事業開始にあたり、鈴木事務局長と札幌市介護保険課に事業の説明とご協力をお願いに伺いました。担当の方々からは、介護事業について多くの方に興味を持っていただきたいと伝えられました。急なお願いにもかかわらず、できる限りのご協力をお願いしますと言っていただき、大変心強く感じました。その後、地域包括支援センター長会議にて事業へのご協力のお願いをさせていただく機会を得て、1件のご協力をいただきました。

現在は連合会が中心となり、25年度の報告書作成作業を進めています。全国でアセスメントのみ11件の実施でした。報告終了後に26年度の申請を行い、採択が決定した後、再スタートです。今年度の北海道建築士会は、残り8件のアセスメントを実施します。

まだまだ、北海道では介護事業従事者と建築士の接点がほとんど無い状態ですが、この事業を通して、そういう方々と連携をとりながら、高齢者、介護者が、住み慣れた我が家での生活を継続できるよう、建築士として、実現にむけてのサポートができることを期待しています。

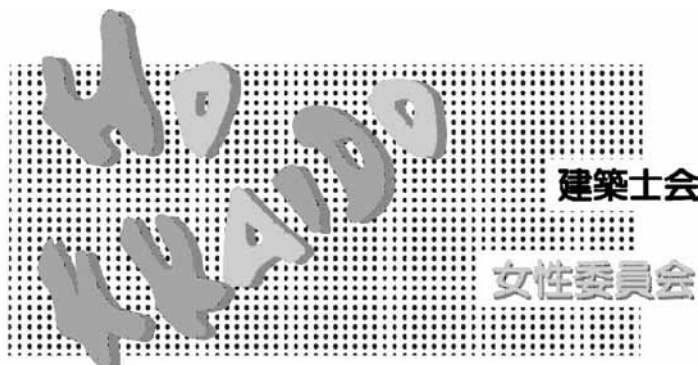
7月1日は建築士の日。
今年も各支部で様々な事業を企画しています。ぜひ、他支部ものぞいてみてはいかがでしょうか。

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
札幌	7/1(火) 18:30~	◆第22回ビールパーティー チケット販売予定数 1,000人分(例年 600~700人来場) チケット 1枚 2,500円(ビール・ソフトドリンク飲放題、軽食付) その他お酒、イベントゲームコーナー、別途チケット販売	ホテル札幌ガーデンパレス
	7/5(土)	◆見学会「札幌の景観バスツアー(西&手稲区編)」 札幌景観資産、札幌市都市景観賞受賞作品等をバスでまわり市民と一緒に見学。	札幌市 西区・手稲区
千歳	7月中旬	◆イベント 出店 建築士会のPR及び街の活性化に寄与することを目的とし、市内で開催されるイベントに建築士会千歳支部として屋台を出店する。	千歳市
恵庭	8/24(日) 9:00~	◆市内中学校 第5回「手づくり木工教室」開催 次世代育成事業の一環として、中学生に「手づくりでものづくりを楽しんでもらう」そして「技(わざ)」のおもしろさに少しでも興味をもってもらおう。 毎年、市内中学校2校とし1校あたり生徒6名を派遣してもらい、2×4ベンチ(長さ1,820mm、幅400mm、高さ400mm)を1校あたり「6脚」製作。 第4回「手作り木工教室」(昨年の様子) 	恵庭市職業訓練センター
石狩	6/6(金) 15:00~	◆サービス付高齢者向け住宅新築工事現場見学後、懇親会	石狩市内花川南地区内
函館	6/28(土)	◆第27回チャリティ「ビア&ダンスの夕べ」 会員の親睦と市民との交流を図り、「建築士」の存在をアピールすると共に収益金の一部を社会福祉関係まちづくり関係団体等に寄付をしている。	ホテル函館ロイヤル
桧山	7/6(日) 9:30~	◆江差町かもめ島祭りの一行事である「全道北前船競漕大会」に参加 1チーム10名での船漕ぎレース。優勝賞金は10万円ですが、体力、技術力が必要のため、主な参加目的は、スタートのアナウンスでのチーム紹介時に、建築士会のアピールと仲間作りの呼びかけをします。参加後、会員の懇親会を行います。(バーベキューチケット協賛購入)	江差町かもめ島
小樽	未定	◆市内の幼稚園(1箇所)に木工品を寄贈し、園児と一緒に組み立てや塗装の作業を実施する。 ◆建築士会の活動についてPRするため、ポスターの展示などを行う(検討中)	未定
岩内	6/28(土)	◆第12回バードハウスDIY体験会	未定
古平	7月上旬	◆パークゴルフ大会・交流会	未定
室蘭	8/2(土)	◆親睦ビアパーティー 会員の懇親を深める為 ビンゴ大会・抽選会・ゲーム等	未定
	9/28(日)	◆室蘭支部視察研修会 旭川方面の建築物等の視察予定。毎年全道大会の翌日に開催、参加者25名程度で建築物等を見学。会員の資質の向上と会員の親交を深めるのを目的とする。	未定
苫小牧	6/21(土) 9:00~	◆地域貢献活動として道路の清掃ボランティア 会員30名が参加予定 道路清掃が終わり次第パークゴルフ大会を白老パークゴルフクラブで予定	白老町町立病院から東側旧国道沿線
空知	未定	◆建築士会空知支部滝川分会「第25回建築士の集いビールパーティー」	ホテルスエヒロ
留萌	7月予定	◆チャリティビアパーティー	未定
旭川	7/1(火)	◆第27回チャリティービールパーティー ・建築士賞の表彰 支部管内において良好な都市環境づくり、人にやさしい住環境づくりをとおして、北国の快適で豊かな北国の快適で豊かな街づくりに寄与し顕著な功績のあった個人・団体を選考し表彰する。 ・寄付金贈呈・アトラクション・抽選会等	旭川北洋ビル

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
士別	7/1(火)	◆建築士の日ビールパーティー ・パネル展示 ・抽選会等	未定
富良野	7/5(土)	◆会員親睦ビールパーティー 会員・建設関連、家族の親睦と交流 抽選会予定	未定
上富良野	未定	◆「建築士の日」ビールパーティー 会員・家族の親睦ビールパーティー、抽選会など 参加者 会員・家族 200名	未定
十勝	7/20(日) または 7/27(日) 11:00~ 16:00 (予定)	◆「帯広市まちなか歩行者天国」に出店し建築士についてPR 建築士会の活動をわかりやすく一般の皆様にご紹介いただくこと、また広くは、 建築の仕事(もの創りの仕事)を次代を担う子供たちに体験していただき、未来 の建築士を夢見る子供たちを育てることを目的とする。 開催時期が夏休み期間中ということもあり、木に触れて、木で物を作る楽しみを 実感していただき、もの創りの楽しさや建築の世界を身近に感じていただくため に「親子で作る木工作」を出店。 建築士会は、市民と触れ合う事業として「木工作」を歩行者天国の一般市民に作 成してもらおう。材料はあらかじめカットしており、建築士会メンバーが補助し電 動ドリルでビス止めをおこなう。完成までの所要時間は15分程度で、小学生程度 でも作成することが出来る。材料は約50個分用意しており、テント内では同時に 6人が作れる。テント内には建築士会活動のパネルを何枚か設置して、建築士会 活動のPRも行う。参加料(材料費)として500円を頂く予定である。	帯広市歩行者天国 内(西2条通り)
釧路	7月予定	◆建築士会釧路支部恒例ビールパーティ 「建築士の日」事業の開催・対応(事業・青年・女性委員会共同)	未定
根室	7月予定	◆焼肉懇親会	未定
中標津	7/6(日)	◆木製ベンチの製作、寄贈 木製ベンチを3台程度、製作寄贈する。その後、親睦会を予定	羅臼町
網走	7月予定	◆第20回 親睦ビールパーティー 本年で20回目の開催になり市民と建築士会の交流・親睦を通して、建築士会活動 を周知していきたい。 近年では震災復興チャリティとして、益金の寄付活動を行い、会員相互の交流・ 親睦を深めることを通じて、建築士の資質・技術の向上につとめたい。	網走市民会館
		◆高齢者入所施設へのライブ演奏による、音楽慰問への助成、協力活動(今回で10 回目の開催)	未定
		◆「親子で巣箱を作り取り付けよう」開催 平成24年からの継続事業、今年で3回目の開催で市民にも活動が少しずつ周知さ れてきた。 子供達が巣箱作りを通して、野生動物の保護、自然環境の保護に関心を持ち、親 子での巣箱作りで、もの作りの楽しさを体験してもらい、もの作りの達成感を親 子で体験してほしい。日頃もの作りに携わっている建築士会会員が指導して、親 子の共同作業をサポートしていきたい。 完成した巣箱を林の木々に取り付ける作業も親子で一緒に行う予定。 参加対象:おおよそ6歳程度~12歳まで(親子で参加募集)	市内公園
北見	7/12(土) 18:30~ 20:30	◆2014(一社)北海道建築士会北見支部ビールパーティー 市民と建築士会の交流・親睦を深めることを通じて、建築士会の普及啓発を図り、 会員相互の交流・親睦を深めることを通じて、建築士の資質・技術の交流を図る。 また、地域貢献活動の一環として収益金の一部から福祉施設へ車椅子の贈呈をす る。	北見経済センター
紋別	7月初旬	◆第16回支部長杯パークゴルフコンペ 「まきばの広場パークゴルフ場」(予定)	道立オホーツク流 氷公園内
宗谷	7/5(土)	◆北門神社祭の御輿徒業に地域貢献活動・建築士会のPR活動として毎年参加。  	稚内市北門神社

*記載のない支部は、「建築士の日」事業予定は未定です。

No. 66



避難所『HUG』研修会より

札幌支部 鈴木 彩恵

今回の研修会は4月12日（土）に参加者23名で、本部女性委員長を講師に行われました。

避難所『HUG』は、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発した防災ゲームで、超参加型のシュミレーションゲームです。もし自分が避難所を運営する立場になった時、殺到する人々や湧き上がる問題にどう対応していくのか？参加者全員が2時間あまり頭をフル回転させていくゲームです。

参加者の設定は、地域の自治会の役員で避難所を運営する立場にあります。5～6人で一つのグループを作り、みんなで力を合わせて（？）続々避難してくる被災者に対応していきます。被災者に見立てたカードを避難所に見立てた平面図に配置していきます。

ゲームは、マグニチュード8.0の大地震から数時間後、被災者がすでに避難所に集まっている…というところから始まります。

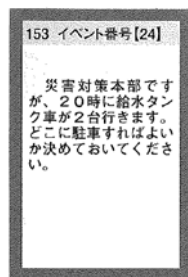
避難所は地域の小学校で、テーブルの上には、校舎の配置図と教室・体育館などの平面図が用意されています。



グループにはゲームの進行係がいます。進行係が持っているのが被災者の名前の書いたカードです。そこには、その被災者の住所や住宅の被災状況・家族の状況などが細かく設定されています。そのカードが一人の被災者の必要スペースに充当する為、進行係が内容を読み上げてから参加者に手渡されます。



参加者は、被災者のカードをテーブルの上の小学校の平面図に配置していきます。季節や天気その他の状況で、被災者の滞り場所も多様な選択肢があります。いろいろな状況を判断し決断していきます。そして、進行係が持っているカードは、被災者の名前が書いたものだけではありません。避難所に起こるであろう出来事や問題が書かれたカードが次々に提示されます。



←イベントカード

さりげない出来事にも、ついあたふたしてしまったり、いろいろな問題にハッとしながら、ゲーム

は進んでいきます。参加者はこのゲームを通して、災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出しや、仮設トイレの配置などの生活空間の確保、取材対応といった出来事に対して、意見を出し合い、喧々諤々話し合い、戻ったり急いだりしながら、ゲーム感覚で避難所運営の仕方などを体験していきます。



増えていく被災者カードはランダムゲームの『神経衰弱』にも似て付箋やマジックやメモなどを駆使しないと、全員で人探しをする羽目に陥ったりもします。

進行係がカードを全て読み終えたところでゲームは終了となります。

ゲーム終了後は、グループで意見交換を行います。例えば多数決で決まってしまったこととか、言えなかった意見とか、今気づいたこととか。この意見交換こそが、次につながる貴重な時間になります。グループで意見交換を行った後は、更に各グループごとに避難所の状況などを発表し、グループごとの違いなども比較検討し、研修終了となります。

読み札や図面をそのまま使用すると北海道の状況にはそぐわないことが多々出てきます。今後はそのような状況にどう対応していくか検討を要しますが、大いに意義ある研修会になったと思います。

今回は、札幌支部女性小委員会の主催で開催しましたが、この『HUG』のセットは、本部女性委員会から1セット（4グループ分）を借りて使用しました。本部女性委員会では、2セット購入し積極的に貸し出ししていますので、興味のある方は是非ご連絡ください。

参加者の感想



北海道版の「HUG」を

札幌支部 往田 協子

4月12日(土)、私にとって2回目の「避難所運営ゲームHUG」体験をしました。今回はスタッフとしての参加でした。

私の役割はグループ内の読み手。1時間45分の中で250枚全ての札を読み終えることが目標でした。

自己紹介、リーダー選出、避難所の設定条件再確認の後、様子を見ながらも次々札を読み上げます。時計を確認しながら自分でも早いペースだなと思いましたが、3グループ中最速で進みました。

メンバーの方々の考え、経験、職能により判断も早さも変わるのでしょう。また真冬が設定条件だったこともあり、即断即決で避難者全員をまずは受け入れる方向で進みました。その一方、通路の確保や支援物資の置き場所、管理等再考を要す部分もありました。

メンバーが違うと展開がまるで違うというのが今回の感想。またライフライン、季節設定等なにかひとつ条件が変わるだけで判断も変わるというのがグループ内で一致した意見。その中で強力なリーダーシップが必須で、それもひとりではなく、運営グループ全体に求められるものだというのがグループとしての大きな意見でした。

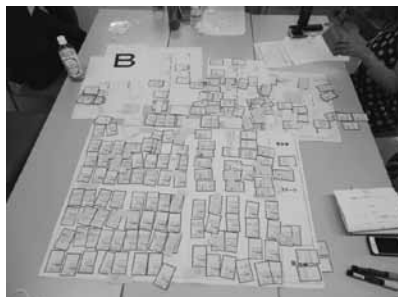
全体の意見交換でもこのような研修は、今後町内会単位等で絶対に必要という声は大きく、北海道

版を考えるきっかけとしたこの研修の意義は大きかったと思います。

ぜひ体験をしてみてください

札幌支部 姉崎寿美恵

今回初めて「HUG」(避難所運営ゲーム)に参加致しました。災害発生から間もない時間に起こりうる様々な状況に対し、被災者が協力して、短時間で適切に対処する方法を選択するものでしたが、与えられた課題の中には、怪我や病気の方、高齢者、外国人、乳幼児やペットに対する配慮や、対処の選択肢も想像以上に多く、難しさを痛感しました。被災者や物資等の配置については、発災後に移動を行う場合は大混乱に結びつく可能性があり難いため、初期の適切なエリア分けが特に重要だと実感しました。実際に被災した場合には、平常とは異なる精神状態で判断を迫られることとなります。参加は2度目ですとおっしゃる方は、「何度も体験することでスキルUPに繋がる」と感想を述べておられましたが、まさにそう感じました。



今回の体験では、実際に災害が起きた場合に備え、地域ぐるみで、普段から世帯状況を把握しておく、どのような方々が避難してきそうか等のシュミレーションをしておくことが、発災時に効率的に対応するためにはとても重要だと感じました。

しかし現実には、実際に住んでいる地域についての情報をほとんど共有出来ていないのが現状では

ないでしょうか。自分自身が当事者になることもあるという意識をひとりひとり持つことが、大切だと思います。

改めて考えるきっかけを与えていただいた有意義な体験でした。

「犬、猫 さあどうしよう?」

札幌支部 佐藤 篤

「避難所HUG」という、何ぞやと言うセミナーに参加しました。予備知識がないままに参加してしまいましたが、それがそれが大変な始末。焦る、焦る、即断をしなければならぬ…

内容はこんな感じですよ。

2月の日曜日 午前8時 マグニチュード8の地震が発生 地震発生から3時間後にこのゲームはスタート。避難所は小学校でした。電気は停電、水道は断水している。ガスは遮断している。避難の状況としては校庭に100人程度の避難者がいるが、続々と避難してきている。おまけに雪が降り続けている。私たちは自治会等の役員で避難所を運営する立場にあります。

さあこれから大変…いろいろな人が避難してきました。ペットを連れてきた避難者、犬、鳥、猫、ハムスター、さあどうしよう? 怪我をしている人、子供、ブラジル人、観光客、認知症の人、妊婦の人、目の見えない人、いろいろな人が避難してきました。この人たちを体育館、教室、外部のどのエリアにゾーン別けするか? 次々と避難する人が増えるなかで即断しなければならぬ。また仮設トイレ、シャワー室等の配置をどこにするかとか即断しなければならぬことがたくさんある!!!

私はこのような立場ではおそらく何もできないと思います。

7人のグループで運営しましたがみなさんのいろいろな意見と即断力!ただ一言 貴重な体験になりました。ありがとうございました。

道本部の主な会議報告（5月）

◆第3回 理事会

〈開催日〉 5月16日(金)

〈議題〉 ※議題については、すべて承認済

- 1) 平成26年度一般会計事業報告及び収支状況報告（3月末）について
- 2) 平成26年度特別会計事業報告及び収支状況報告（3月末）について
- 3) 「文化遺産を活かした地域活性化事業」立替金に伴う財政調整積立資産の取崩について
- 4) 第39回全道大会（旭川大会）の実施計画及び収支について
- 5) 第39回全道大会（旭川大会）の決意文について
- 6) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者について
- 7) (一社)北海道建築士会会長表彰について
- 8) (一社)北海道建築士会の事務局電子機器の利用規則について
- 9) 継続的な能力の開発の促進に関する規則に基づくプログラム審査評議会評議員及び専攻建築士審査評議会評議員の委嘱について
- 10) 定款第7条に基づく会員の入会承認について

◆第1回支部長・事務局長会議

〈開催日〉 5月31日(土)

〈議題〉

- 1) 平成26年度建築士定期講習会の開催について
- 2) 第39回全道大会（旭川大会）の実施計画及び参加等について
- 3) 平成27年第40回全道大会の開催地・開催日について
- 4) 建築技術講習会の開催について
- 5) 会費未納者の対応及び資格喪失会員について
- 6) 代議員選挙について

◆第1回総務委員会WEB会議

〈開催日〉 5月2日(金)

〈議題〉

- 1) 第39回全道大会（旭川大会）の実施計画及び収支(案)について
- 2) 第39回全道大会（旭川大会）の決意文(案)について等

道本部の主な行事予定（6月）

〈開催日〉 6月21日(土)・22日(日)

◆「建築士の日」イベント 青年委員会主催

※詳細は、下欄をご覧ください。

関係機関等会議出席状況（6月）

6月13日(金)

日本建築士会連合会総会（東京）

高野会長出席

6月28日(土)

(一社)青森県建築士会三沢大会

高野会長、吉木副会長出席

**「建築士の日イベント」青年委員会主催
建築のお仕事体験～7月1日は建築士の日～**

建築士の仕事を一般市民の方々に知ってもらい未来を担う子どもたちに建築に興味をもってもらう事を目的に毎年開催しています。今年も下記日程で開催しますので、どうぞお立ち寄りください。

◇日時 6月21日(土)・22日(日)

10:00～18:00 無料

◇会場

新さっぽろアーケ
シティサンピアザ
「光の広場」
(札幌市厚別区
厚別中央2条
5丁目7番2)



平成26年度 第三期・四期 建築士定期講習（予定）

平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）に修了された方は、今年度（平成27年3月まで）が受講年度となります。

本会が開催する定期講習を受講された方へは、北海道建築士会本部が主催する講習会を対象に受講翌年の3月31日迄有効な割引券（受講は1回限り）を発行します。割引券は、定期講習当日に配布します。

※建築士定期講習は対象外です。 ◆割引額 会員 2,000円 会員外 1,000円

詳細については、「北海道建築士」8月号にてご案内いたします。

	開催月	開催日及び開催地					受付期間
三期	10月	29日函館市					8月25日～ 定員次第
	11月	13日室蘭市	19日札幌市	19日旭川市			
四期	平成27年1月	26日札幌市					
	2月	12日釧路市	18日帯広市	20日北見市	26日旭川市	中旬函館市	
	3月	12日苫小牧市	18日札幌市				

北広島支部 活力再びにかける

支部長
関川 修司



支部に元気が無い。何をすれば良いか、妙案も無い。昨年、某支部長と話したことがあった。ある事業をしたことによって新会員が1名とは言え増えたという。ならば、我が支部もとを考えをめぐらしたが・・・

そんな時、ある若者が1級建築士に合格したことを聞いた。すぐさま電話をした。「危急存亡の秋、支部は、君を待っている」と助けを請うた。応えはいとも簡単に「入会するよ」であった。(一息)

年度が代わり、役員会を開き、今年の事業を話し合った。新会員もあることから、現状支部では無く、何かをしようと。全道大会に向けて実行委員会結成。委員長には、快く引き受けて貰った。募った参加者がバスで行くことにした。種種の案はあったが、先ずは、ここから。全国大会に参加することもある。支部独自事業もある。

全道大会の反省会も考えられる。次のステップへは、考えるだけで無く、一歩踏み出さねば。

北海道建築士会の新事業－北海道文化資産活用活性化事業も始まる。HM事業－この事業の本来の目的は、埋もれている地域の文化財を掘り起こして、保全補修することにある。この事業活動を踏まえて士会活動に活性化を見いだした士会も有るといふ。見渡せば、有形のモノは建築士会の対象物、無形のモノを保全することも建築士会にできるはず。

我が支部でも同様では無いかを考えつつ、我が町の有形無形を士会活動の対象にし、元気有る士会を目指そう。

中標津支部 CAD講習会

青年委員
伊井 崇史



我々建築士の持つ職能の一つとして、CADがあります。

中標津支部では、10年程前から、不定期ではありますが、CAD講習会を開催しています。

平成24・25年度には、厚労省の地域雇用創造推進事業において、中標津町地域雇用創造協議会が採択され、その中の1事業としてJWCAD講習会を町より委託を受けて実施しました。

講習の内容としては、基本設定や、拡大・縮小などの操作方法及びレイヤなどの仕組みについてひと通り説明し、例題に沿って線の引き方や文字入力の方法など各種コマンドを練習し、実際に練習課題として簡単な平面図・立面図を書いてもらいます。メイン講師が、プロジェクタで説明をしながら、講習を進めていきますが、サポート講師として、2人に対して1人程度配置して直接指導します。このため、講師の人数を集めるのも大変なことから、定員を20人としていました。

開催前はそんなに受講者は集まらないのではと思っていましたが、本事業で開催した4回とも定員を超える申し込みがあり、人気講座となっていたようです。

CADを使用して図面を書くには、操作方法はもちろんのこと、建築に関する知識も多少は必要となります。今回の事業では、受講対象者を求職者及び転職希望者向けとしていましたが、もし、中高生を対象として行うことができれば、将来の道として建築に対して興味を持ってもらう一つのきっかけになるのではないかと思います。

苫小牧支部 支部の近況

事務局員
中原 光晴



昨年は、1月の支部定例総会において北村支部長が就任、役員及び事務局体制を一新し、支部組織を総務・事業・情報・まちづくり・青年・女性委員会と再編成して支部活動を活性化。会員サービスの充実を図ると共に、地元苫小牧における対外的事業にも積極的に参画し、支部創立60周年を迎える事ができました。

周年事業としては、3月の施設見学会の開催（北海道電力伊達発電所・メガソーラー）、5月の苫小牧市民植樹祭（苫小牧市立病院庭園）参加、6月の社会貢献活動道路清掃事業を会員とその家族で実施、26年2月には苫小牧工業高等学校建築科卒業設計の審査及び表彰を実施（最優秀賞1名、優秀賞2名を選出）これらの事業は今後も継続事業として実施して行く予定です。また、60周年記念祝賀会を2月15日に開催し支部会員相互の連携の大切さを再確認しました。

事務局としては、移転に伴う業務引き継ぎから一年が経ち、本部のサポートもあって、事務局長共々一連の業務の流れを、把握出来たところです。昨年整備した支部会員へのeメールによる密な情報発信環境を活用し、今後とも業務を円滑に進めてゆけるよう努力して行きます。



平成25年6月道路清掃事業

CPD認定プログラム(5月認定)

- ◆安藤忠雄氏講演会「地方都市の生き残りをかけて」
《日程及び会場》平成26年7月22日(火) 18:30~20:00
札幌市民ホール(札幌市)
- 《単位数》 2単位
- 《問合せ先》 (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076



ご存じですか? CPD自習型研修プログラム

毎月お届けしている会誌「建築士」に掲載されているCPD講座の設問に回答するとCPD単位が登録できます。

CPD自習型認定研修の設問は、下記の手順でCPD単位登録を行ってください。

- ①CPD情報システムページ (<https://jaeic-cpd.jp/>) にログインをします。
- ②士会用メニューより「認定教材研修申請」を押します。
- ③CPD番号、氏名を確認し、必要欄を入力します。
- ④プルダウンメニューから「設問名(設問ページ右欄に記載)」を選択します。
- ⑤設問への解答を選択します。
- ⑥入力後、「次へ」を押します。
- ⑦確認画面より「申請する」を押し、完了です。

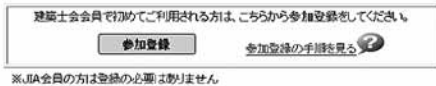
- 注1) 初めてCPD情報システムを利用する場合は、「参加登録」を行う必要があります。
- 注2) 不正解の場合は登録できません。
- ・CPD実績は、公共工事等の入札等に活用されています。
 - ・専攻建築士申請には、新規12単位/1年、更新60単位/5年のCPD単位が必要です。

CPD情報システム

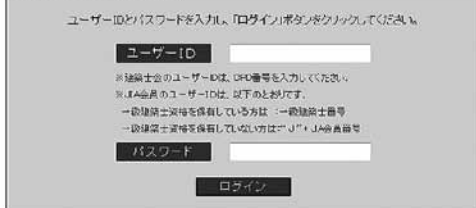
参加者用

CPD情報システムログイン

ログインを行います。
参加には、登録が必要となります。
ログインパスワードを忘れた方は、こちらで変更してください。



ログインが必要です



※JA APEC加盟に加盟されている方のパスワードについて

安藤忠雄氏講演会

「地方都市の生き残りをかけて」

建築家・安藤忠雄氏の講演会を札幌にて開催いたします。参加費無料(事前予約制)ですので、ぜひご参加ください。当日は、関連書籍の販売と購入された方へのサイン会も実施いたします。

開催日時: 7月22日(火)
18:30~20:00(開場 17:30)

開催場所: 札幌市民ホール(大ホール)
(札幌市中央区北1条西1丁目)

定員: 1,500名

申込方法: (一社)北海道建築士会ホームページより申込書をダウンロードし、お申し込み下さい。申込先等詳細についてはホームページをご確認ください。

参加費: 無料

主催: 大光電機(株)

後援: (一社)北海道建築士会
ホームページ (<http://www.h-ab.com>)

各支部からのお知らせ

〈札幌支部〉 TEL 011-232-1843
一級建築士(学科)受験者講習会
7月5日(土)・6日(日) 大五ビル2階

図書案内

小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約約款契約書関係書式

- ◎A4版 ◎定価: 864円/会員価格: 777円(税込)
- ◎発行: (一社)日本建築学会 (一社)日本建築協会
(一社)全国建設業協会
(公社)日本建築士会連合会

編集後記

7月1日の「建築士の日」まであと1ヶ月ですね。今月号の記事にもありますが、各支部で会員相互の親睦、研鑽、イベント参加、技術奉仕など様々な事業が計画されています。たまには隣の支部事業に参加してみるのも良いかもしれませんね。今、多くの支部が会員減少や事業縮小を悩みとしているようですが、「建築士の日」という特別なイベントを通じて士会活動をアピールし、一人でも多くの会員が増えることを願っています。

情報委員 高松 徹

情報委員会委員長/神田 光英
副委員長/斎藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利
委員/高松 徹・熊谷 智・柳山美保子
鈴木 雅人

北海道建築士 No.202号

印刷 平成26年5月/発行 平成26年6月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番